

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

淡路麺業の SDGs 優先課題を設定しました

2015年の国連サミットで採択された、2030年までに達成すべき目標である「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals : SDGs）」。

弊社では、事業と特に関連性の高いゴールを優先課題として設定し、今後も取り組みを続けると同時に、それらのゴールに対するさらなる貢献を目指します。弊社の優先課題と、その取り組みは以下の通りです。



淡路麺業の優先課題 12. つくる責任 つかう責任



淡路麺業では生パスタを1日約3～5万食を製造しています。そして、製造過程で発生する端材は1日約50kg以上になります。今後も『本当に美味しい』こだわりの生パスタの製造・販売を続けていくために、環境や社会に配慮し還元する責任を果たしたいと考えています。

達成に向けた具体的な取組内容として、下記を宣言します。

『商品にすることのできない生パスタの端材を、アップサイクルとして有効活用します』

発生する端材の量を減らす取り組み（設備導入や製造工程の見直しなど）は継続的に実施していきますが、製造の都合上、端材の量をゼロにすることはできません。そのため、アップサイクルとして有効活用することで廃棄する端材の量を減らしていくことが最善であると考えています。

他企業との協業や端材利用を希望する企業の募集等を行い、生パスタの端材を利用した新たなアップサイクル商品を世に生み出していきます。

2024年7月